

## 第31回 甲南英文学会定期総会・研究発表会のご案内

2015年6月10日

甲南英文学会会長 福田 稔

メール：[els@konan-u.ac.jp](mailto:els@konan-u.ac.jp)

ウェブ：<http://www.konan-u.ac.jp/~els>

甲南英文学会会員各位

本年度の総会、および研究発表会・講演会を以下の要領で開催いたします。ぜひともご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

### 記

日時：2015年7月11日（土）午後13時00分より

場所：甲南大学2号館 2階、221号教室、223号教室

### プログラム

13:00 -13:50           **総会**（2号館2階223教室）

#### 議題

1. 2014年度決算報告
2. 2015年度予算案
3. その他

#### 報告

1. 編集委員会より
2. その他

14:00-16:50           **研究発表**

[英語学] 2号館2階223教室

・14:00-14:40

司会 福島彰利（甲南大学）

法助動詞としての *Do* の再分析—強調文・命令文を証拠として—

乾 拓也（甲南大学大学院博士後期課程）

14:50—16:50

ワークショップ「周辺構造を巡って」

福田 稔（宮崎公立大学）、中村浩一郎（名桜大学）

北峯裕士(北九州市立大学)、古川武史(福岡工業大学)

[英米文学・文化] 2号館2階221教室

・14:00-14:40

司会 秋元孝文 (甲南大学)

「言語と人種のハイブリッド性——Richard Rodriguez と Luis Alberto Urrea の場合」

大森義彦 (甲南大学)

・14:50-16:50

ワークショップ 「文学・文化を教える」

青山義孝 (甲南大学)、中島俊郎 (甲南大学)

安武留美 (甲南大学)、沖野泰子 (甲南大学非常勤講師)

17:00-18:00

講演会 (2号館2階223教室)

司会：中島俊郎 (甲南大学)

「イギリスのカントリー・ハウスと文学」

新井潤美<sup>めぐみ</sup> (上智大学)

新井潤美先生プロフィール

上智大学文学部教授。英文学、比較文学専攻。東邦大学、中央大学等を経て、現職。主な著書に『階級にとりつかれた人びと-英国ミドル・クラスの生活と意見』、中公新書 1589 (中央公論新社、2001年)、『不機嫌なメアリー・ポピンズ-イギリス小説と映画から読む「階級」』、平凡社新書 273 (平凡社、2005年)、『へそ曲がりの大英帝国』、平凡社新書 430 (平凡社、2008年)、『ジェイン・オースティンとイギリス文化』、「NHKカルチャーラジオ 文学の世界 NHKシリーズ」、(NHK出版、2010年)、『執事とメイドの裏表-イギリス文化における使用人のイメージ』(白水社、2011年)など。また共著、翻訳書なども多数。

18:15-20:00 懇親会 (学友会館3階)

みなさま、引き続き是非ご参加ください。 参加費1000円

### 【出欠について】

出席・欠席の旨は、メール添付ファイルの返信、または郵送の場合は同封のハガキにて、必ずお知らせください。欠席される方は、委任状にも署名・捺印をお忘れなきよう、よろしく願いいたします(メールによる返信の場合、捺印は不要です)。

### 【役員会について】

本年度の役員会は、10号館8階準備室(L-810)にて午前11時より開催予定です。役員の方は万障お繰り合わせのうえ、ご出席をよろしく願いいたします。